

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	道 徳			
教 科	特別の教科 道徳	時間数	1時間	学年・コース
使用教科書	新訂 新しい道徳（東京書籍）			
副教材等	教科書に付随するプリント等			

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき

①世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重して世界の平和と人類の発展に寄与することを図る。

②学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めることを図る。

以上のような主体性のある日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養うことを目標とする。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	自主、自律 自由と責任 友情、信頼 礼儀		10月	社会参画、公共の精神 勤労、生命の尊さ 自然愛護	
5月	礼儀 思いやり、感謝		11月	勇気と希望 克己と強い意志 家族愛 家庭生活の充実	
6月	向上心、個性の伸長 節度、節制		12月	郷土の伝統と文化の尊重 郷土を愛する態度 我が国の伝統と文化の尊重 国を愛する態度	
7月	遵法精神、公徳心 公正、公平、社会正義		1月	真理の探究、創造 感動、畏敬の念	
8月			2月	国際理解 国際貢献	
9月	よりよい学校生活 集団活動の充実 相互理解、寛容		3月	よりよく生きる喜び	

3. 学習評価について（観点・評価場面設定・年度末評定）

評価は、次の観点から行います

①道徳的諸価値の理解 ②自己内省 ③多角的視点 ④自らの生き方に対する熟考

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ・学習活動への取り組み(授業中の発言等の姿勢等)
- ・提出ノートの内容

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します